



◀ヤナギラン
(アカバナ科)
多年草で、茎は赤味を帯び高さは1～1.5m。葉は1針形で下面は白色をおびる。花は紅紫色で花弁は4枚、倒卵円形。果実は長さ4～8cm。

▶キバナ
イカリソウ
(メギ科)
多年草で、4～5月ごろ、茎の途中から長い花柄を出し総状花序の花をつける。鉢物・切花・薬用として幅広く利用される。



◀バйкаウツギ(ユキノシタ科)
初夏、枝先に香気のある、梅に似た白い花を5～9個まとめてつける。花は径3cmで花びらは4枚。樹高は1～3mくらいになる。

▶柱状節理



▶ウサギシダ



▶冷風体感施設



◀アイツシモツケ(バラ科)
5～6月にかけて散房状に白花を多数つけるが、風穴地が凹地の場所では8月頃まで開花がみられる。



▶ミヤマザクラ(バラ科)
樹皮は紫褐色で、横に長い皮目が目立つ。6月ごろ開花し、花は白色で樹高5～12m、直径10～30cmくらいになる。

▶ベニバナイチヤクソウ
(イチヤクソウ科)
冷温帯から亜寒帯の林内に生え、群生することが多い。葉は長い柄をもち円形または円状楕円形で長さ3～4.5cm、幅2～3.5cm数個根際に着生する。



オオタカネバラ(バラ科)
小葉が2～3対で裏面全体に軟毛がある。岩礫地では広範囲に群落をつくっている。

中山風穴地特殊植物群落の開花時期

野草名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
カタクリ	←→						
キバナイカリソウ	←→						
アイツシモツケ		←→					
オオタカネバラ		←→					
ベニバナイチヤクソウ		←→					
ヤナギラン			←→				
バйкаウツギ			←→				
エゾカワラナデシコ				←→			
オミナエシ					←→		
トモエシオガマ(カガミギ)						←→	

福島県南会津郡下郷町

中山風穴地特殊植物群落

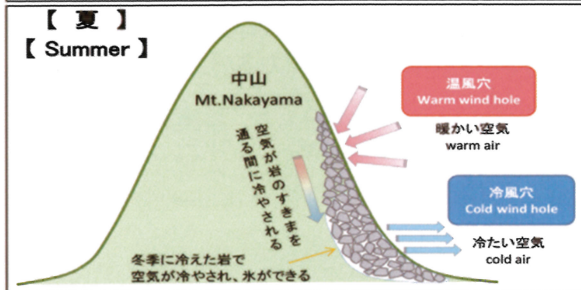
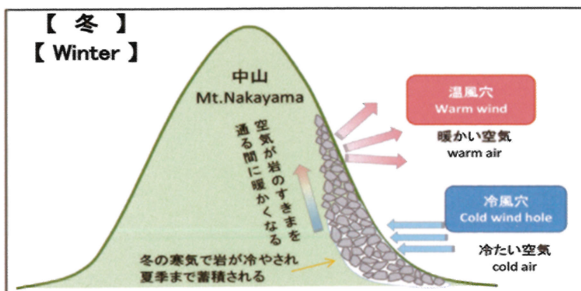
中山は約 200 万年前に地下から現れた火成岩できており、柱状節理を持った岩石（安山岩）は崩れやすく、そのかけらが山のふもとに積み重なり、巨大な崖錐地形を形づけています。

すき間の多い崖錐内の岩石が冬季の寒気により冷やされ、その冷気が春から夏にかけて冷風穴から吹き出し、実際の標高よりも涼しい気候環境ができます。このしくみがあることで、本来育たないはずの植物（イワダレゴケ、オオタカネバラ、ベニバナイチヤクソウなど）からなる植物群落が見られます。

この植物群落は学術上の価値があることから、1964 年 6 月 27 日に国の天然記念物に指定されました。

所在地：南会津郡下郷町湯野上・弥五島地内
面積：植物群落 6 指定地 計 8954.27 m²
標高：500～800m

冷風が吹き出すしくみ



冬の間に冷風穴から空気を取り込まれ、寒気で岩が冷やされることにより氷ができ、岩の冷たさは夏まで蓄積されます。冬とは逆に、夏には温風穴から空気を取り込まれ、冷たい岩の隙間を通る間に冷やされ、冷風穴から冷たい空気が出てきます。

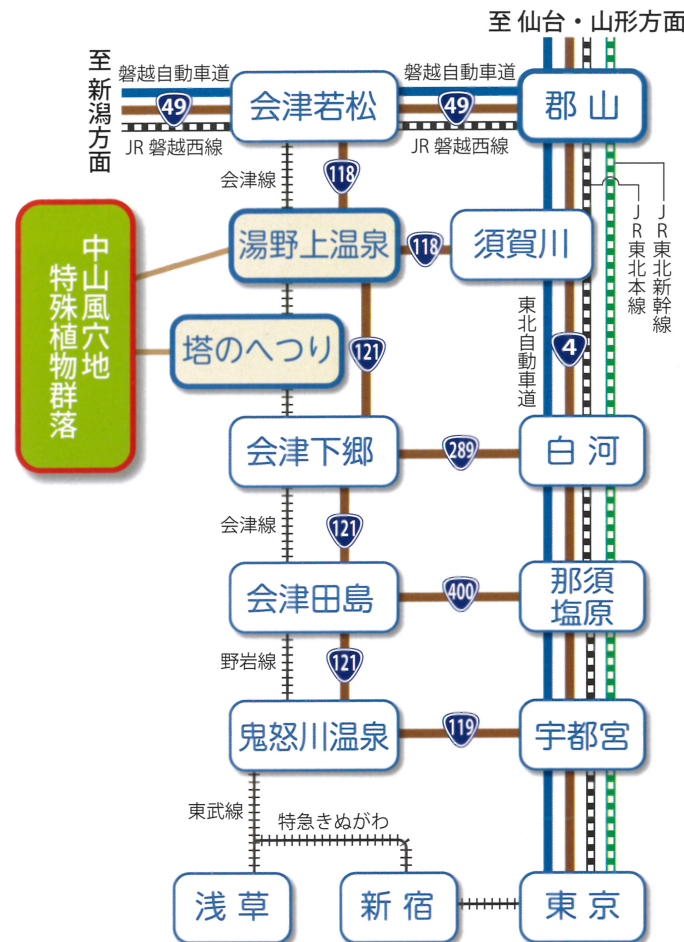
体感施設では、石積みされた隙間から冷風が吹き出し、体で冷たさを感じることができます。ぜひお立ち寄りください。



中山風穴地地図

ACCESS

アクセス



◆最寄り駅：会津鉄道 湯野上温泉駅（徒歩約 40 分）
塔のへつり駅（徒歩約 35 分）

見学時のお願い！

- 指定地内には絶対に入らないでください。
- 指定地内の植物は絶対に採らないでください。
- ゴミは必ず持ち帰るようお願いします。
- 時々野生動物が散歩しています。鈴などで存在を教えましょう。

(発行)

福島県南会津郡下郷町教育委員会

〒969-5345 下郷町大字塩生字大石 1000 番地

TEL 0241-69-1168